



# パリオリンピックへの道



FIBAワールドカップ2023 アジア地区予選を通じて強化を続ける男子日本代表

### W杯予選2次ラウンド開始

日本、フィリピン、インドネシア共催の「FIBAバスケットボールワールドカップ(以下FIBAワールドカップ)2023」開幕まであと1年。日本での開催地となる沖縄県、その舞台となる沖縄アリーナにて、日本は8月30日にカザフスタンと対戦する。8月25日に敵地でイランとの戦いを経て、ホームに戻っての対戦だ。

FIBAワールドカップアジア地区予選はこのWindow4から2次ラウンドへと突入する。Window1~3までの1次ラウンドでは、16チームが4チームずつ4グループに分かれて戦い、各組の最下位が脱落。Window4~6までの2次ラウンドでは、12チームに絞られた中で2グループにわけて争われる。FIBAワールドカップのホスト国であるフィリピンと日本はすでに開催地枠を持っているため、この12チームの中から各グループ上位3チーム(計6チーム)が出場権をつかむことになる。日本が2次ラウンドで対戦するのはカザフスタン、

イラン、バーレーンの3カ国。この中で特に要注意 なのがカザフスタンとイランだ。

現在、カザフスタンとイランが5勝2敗。2次ラウンドで同組のオーストラリアが7勝0敗、中国が4勝2敗と競い合っているだけに、イランとカザフスタンにとっては、日本戦は是が非でも勝たなければならない試合として挑んでくる。両国とは7月にインドネシアで行われた「FIBAアジアカップ2022」でも対戦しているが、FIBAワールドカップの出場権がかかっているWindow4では、さらに熾烈な争いになることが予想される。

### パリオリンピックへと続くワールドカップ

1年後に開催されるFIBAワールドカップは『バスケットボール世界一決定戦』であるとともに、パリオリンピックへの出場権がかかっている大会だ。

FIBAワールドカップの順位において、アメリカ 大陸とヨーロッパ大陸からは上位2位、アジア、オ セアニア、アフリカ大陸は最上位がパリオリンピッ



クの出場権を獲得する(計7チーム)。その他、開催 地枠があり、残り4枠を世界最終予選で争うことに なる。32の国と地域が出場できるワールドカップ に対し、オリンピックの出場枠はわずか12の国と 地域という狭き門。日本はその難関を突破し、自力 でパリオリンピックの切符をつかもうとしている。

昨年の11月にヘッドコーチ(以下HC)に就任したトム・ホーバスは、自国開催となるFIBAワールドカップでアジア最上位となって五輪切符を得るために、現在メンバーを選考しながら、チームを構築中だ。ホーバスHCは、東京2020オリンピックで女子日本代表を銀メダルに導いたスタイルと同様に、ゴール下やレイアップ等の2点シュートと3Pシュートを主体とした「アナリティック(分析)・バスケットボール」を目指している。得点効率のいいシュートを放つために、トランジションの速い展開とペイントアタックによって、スペーシングを生み出す。このスタイルはWindow1~3と今年7月のアジアカップを経て、徐々に浸透してきているところだ。

パリオリンピックに向けては、ホーバスHCが掲げるスタイルをさらに深めていくことが求められる。沖縄で開催されるカザフスタン戦では、Akatsuki Japanの象徴である3Pシュートがさく裂するかが見どころとなるだろう。



男子日本代表の生命線を握る3Pシュート。今大会でも注目だ

### Road to Paris2024~パリオリンピック出場への道程 2022 2023 2024 FIBAワールドカップ2023 FIBA ワールドカップ パリオリンピック アジア地区予選 (12チーム出場) (日本は本戦開催国として (32チーム出場) アジア 1位 本戦出場権を保持しながら予選に参戦) ※除くオセアニア地区 OQT(世界最終予選) アジア2位以下 4チームのみ五輪出場

# アジア地区予選を通じてチーム構築を進める日本代表



司令塔の富樫はチームの成長を感じている

### ホーバスHCのスタイルを構築した1次ラウンド 前半

2次ラウンドに突入したFIBAバスケットボールワールドカップ2023 アジア地区予選。日本にとってWindow1~3までの1次ラウンドは、トム・ホーバスヘッドコーチ(以下HC)のもとで新しいスタイルを構築する試行錯誤の期間となった。

昨年11月に行われたWindow1での中国との2 連戦は、宮城県仙台市のゼビオアリーナ仙台で開催。中国は従来の高さだけでなく、近年はガード陣の速さと3Pシュートに力を入れているチーム。

1戦目は212cmのジョウ・チーと司令塔のグオ・アイルンという大黒柱の活躍によって63-79で敗戦。続く2戦目はジョウ・チーが負傷欠場となるも、73-106で完敗。中国はインサイドの柱が不在でも、交代で出てくるガード陣がゲームをコントロールし、3Pシュートを次々に沈めていく。日本の3Pシュートが8/32本(25%)に対し、中国は14/24本(58.3%)。サイズで劣勢なうえに、3Pシュートまで上回れては成す術がなかった。

Window2は沖縄アリーナにてオーストラリアとチャイニーズ・タイペイと対戦。チャイニーズ・タイペイは若手主体ながらも、211cmの帰化選手ウィリアム・アルティーノを加えた布陣で粘りを見せる。対して日本は西田優大が27得点、エヴァンスルークが17得点と奮闘。トータルリバウンドでは38-49本と負けながらも、接戦を制して76-71で勝利。新体制になっての初勝利にホーバスHCは「ここからもっと成長します」と誓いを立てていた。

### 試合を重ねるごとに成長して2次ラウンドへ

世界ランキング3位と格上のオーストラリアと の対戦では、前半に司令塔の富樫勇樹が積極的に 攻めて互角の展開。ベンチからは安藤誓哉がドライブを仕掛けてペイントアタックで得点するなど、日本の新しい形が見え始めていた。しかし後半はオーストラリアが試合巧者ぶりを見せつける。Bリーグで活躍するニック・ケイ(島根スサノオマジック)やアンガス・ブラント(香川ファイブアローズ)ら、日本のバスケをよく知る2人に主導権を握られ、64-80で敗戦。ホーバスHCは「オーストラリアには負けたけれど良くなっている手応えはある。日本代表で求められるスタイルをBリーグでもやり続けてほしい」と選手たちに課題を与えていた。

7月にオーストラリアで開催されたWindow3



ホーバスHCは選手のトライアウトをしつつ、チームを構築中

ではそのオーストラリアとチャイニーズ・タイペイと対戦。日本はオフシーズンを迎えたことでFIBAアジアカップ2022とWindow4までを見据えて総勢42名の候補からトライアウトを重ねていくやり方を採用した。その中、マシュー・デラベドバ、ソン・メイカーらNBA経験者を擁するオーストラリアには52-98で完敗を喫するも、切り替えて臨んだチャイニーズ・タイペイ戦では89-49で圧勝。ディベロップメントキャンプを経て招集された富永啓生、吉井裕鷹、井上宗一郎、河村勇輝ら若手が台頭し、シューターとして須田侑太郎が浮上するなど新戦力が躍動し、ホーバスHCが求めるスタイルが徐々に浸透してきていることを示した。

1次ラウンドとFIBAアジアカップ2022を終えてキャプテンの富樫は「Window1の頃から比べるとトムさん(ホーバスHC)が掲げるバスケへの理解が深まっている」とチームの成長を語る。8月のWindow4ではFIBAアジアカップ2022で対戦したイランとカザフスタンと再戦。より連携を深めたチーム作りを進めていく。

# FIBAワールドカップ 2023 アジア地区予選 組み合わせ ★2次予選 \*\*( )内は世界ランキング/アジア内ランキング(2022年3月旧現在) グループ E ジループ F ニュージーランド (27位/3位) フィリピン (34位/6位) コルダン (39位/8位) 中国 (29位/4位) ・ サウジアラビア (80位/13位) カザフスタン (68位/10位) インド (82位/14位) バーレーン (106位/21位)

ルシから バスケモ や。?いましてこ。 た掛すず

ポジションはガード。

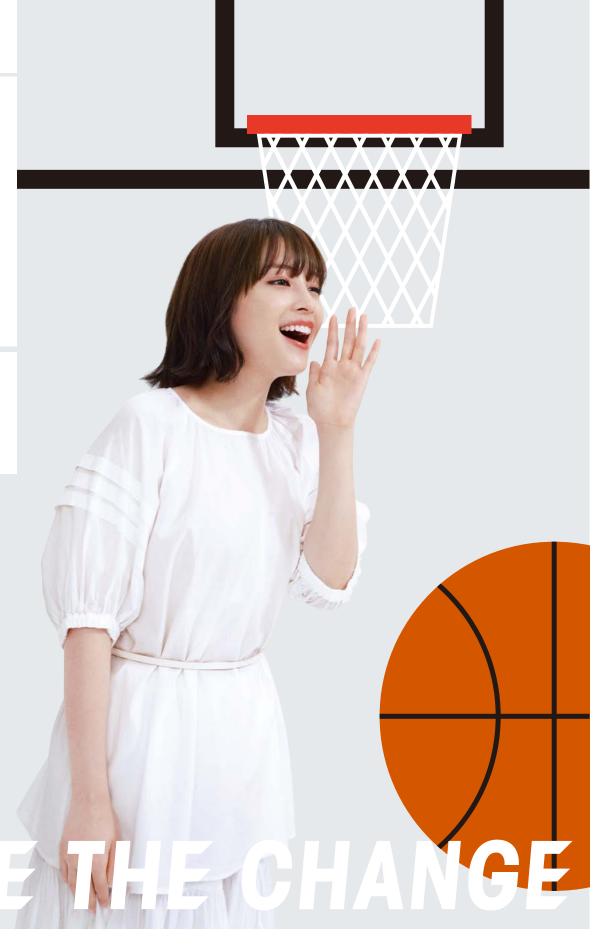
この仕事を していなかったら、 まだどこかで バスケをしていたかも。

バスケに 教えてもらったことは いっぱい。 全力で応援 したいと思います。





TEAM JAPANゴールド街づくりパートナー



# **JAPAN** 日本代表 (AKATSUKI JAPAN)

38位/7位

























# **STAFF**



東野 智弥 (Tomoya HIGASHINO)

公益財団法人日本バスケットポール協会

<mark>アソシエイトヘッドコーチ</mark> **ゲインズ コーリー (Corey GAINES)** 公益財団法人日本バスケットボール協会

アシスタントコーチ **勝久 ジェフリー** (Geoffrey KATSUHISA) 川崎プレイプサンダース

スポーツパフォーマンスコーチ 緒方 博紀(Hiroki OGATA)

一柳 武男 (Takeo ICHIYANAGI)

公益財団法人日本バスケットポール協会

サポートアスレチックトレーナ-古澤 美香(Mika FURUSAWA)

チームドクター 山本 敬之 (Takayuki YAMAMOTO) 国立国際医療研究センター病院

テクニカルスタッフ 富山 晋司 (Shinji TOMIYAMA) 西村 拓也 (Takuya NISHIMURA)

\_\_\_ · \_ \_ \_ \_ · 公益財団法人日本パスケットボール協会

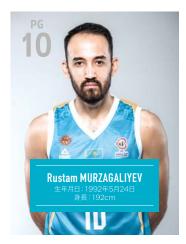
# FIBAランキング(全体/アジア・オセアニア内)

# KAZAKHSTAN かザフスタン代表



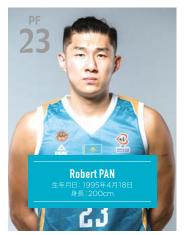




















# **STAFF**



ASSISTANT COACH
Alexandr LYSSYAK

TEAM MANAGER
Rustem MUKANOV

MASSEUR Tamerlan BATYRGALIYEV



# オフィシャルグッズ発売中

# **AKATSUKI** OFFICIAL GOO **JAPAN**

会場オフィシャルストアまたはAKATSUKIオンラインショップにて販売中



ハイブリットハンドタオル[JAPAN]

¥1,000(稅込)



¥1,000(稅込)



トートバッグ[ロゴ] カラー:ナチュラル サイズ:SM **¥1,500**(税込)



























# バスケットボール日本代表 公式 **FUN** サイト



# **AKATSUKI FIVE** plus<sup>t</sup>

新規入会受付中!!

入会はこちら







# AKATSUKI FIVE plus + は代表とあ AKATSUKI FIVE plus <sup>+</sup>に入会すると!



チケット

AKATSUKI FIVE °の国内全試合や JBA主催試合®のチケットをどこよりも 早く購入できる!



日本代表候補選手も参加するオンライ ンライブ配信イベント、選手のサイン入りアイテムが当たる抽選応募キャンペー ンなどファンクラブだからこそ実施<u>でき</u> る超貴重な企画も実施!

**\*\*\*\*\*○ 会員限定コンテンツ** 

毎月更新のAKATSUKI FIVE ®男女のカレンダー、不定期で更新される、豪華 ゲストを迎えたオリジナルポッドキャスト番組「Wジュンのシックスマンズハーフ タイム」や限定コラム、また AKATSUKI FIVE °になりきり、ブロックショット を次々と決めゴールを守るオリジナルゲーム「Block it Out!」などここでしか 得られない会員限定コンテンツを配信!



AKATSUKI FIVE plus †にてメールマガジンの登録をすると、バスケットボール日本代表に関する 「AKATSUKI FIVE plus †メールマガジン」を受信できます! 是非登録してみてください。





### AKATSUKI FIVE plus +ご入会方法

月額440円(税込)でご利用いただける公式FUNサイトです。 URLもしくはQRコードにアクセスしてください。

※3ヶ月、6ヶ月、12ヶ月払いもご利用いただけます。※携帯電話など一部端末には対応しておりません。 http://akatsukifive.ip

アカツキファイブプラス 〇



## **AKATSUKI FIVE** 公式オンラインショップ

バスケットボール日本代表の公式グッズを 通販でご購入いただけます!

https://akatsukifive.jp/online\_shop/

日本代表の新ニックネーム「AKATSUKI JAPAN」の発表に伴いまして AKATSUKI FIVE plus+ は、今秋(予定)にかけて AKATSUKI JAPAN plus+ にリニューアル致します。



チケット販売中! 2DAY PASS ご購入はここをクリックト

2DAY PASS

本大会公式ファンクラブ「WIN FOR ALL TEAM」(登録無料)

「WIN FOR ALL TEAM 」 に登録すると、最新のニュースやチケット情報が届くだけでなく、 一般発売前のチケット先行販売に参加できるなど、さまざまな特典がご利用いただけます。ご登録はここをクリック▶



いつも応援ありがとうございます。

# 感染予防に ご協力ください。



手指の消毒をしよう



ソーシャルディスタンスを保とう

